

博多山笠



オイサツ、オイサツ、オイサツは博多祇園山笠のかけ声だ。7月1日から始まる山笠行事の最終行事は15日の追い山であり同時にこれが絶頂。15日午前4時49分に福岡市博多区の櫛田神社の空が白む15日午前4時49分にドーンという太鼓の合図で一番山笠・千代流が猛然と境内になだれ込み、ついで清道旗を半周して昇(か)き山笠を止め、一番山笠だけができる「博多祝い唄」を棧敷席の観衆とともに大合唱。その後、重さ1トンの昇き山笠を担ぎ、街に飛び出す。次いで5分おきに水法被の男たちが担ぐ七流の昇き山笠が櫛田神社に入り、須崎町の廻り止めまでの5kmを一気に駆け抜ける。沿道の見物人は17万人ほど。山笠には勢い水が掛けられる。山の昇き手のほかに、先走りその後押しの人びとが付く。博多っ子は先走りの姿を見ただけで興奮する。両手を伸ばした状態での走りは博多山笠特有のもの。追い山に出る男たちは走ることで興奮し陶酔する。博多の子供、博多もんは、生まれた時から山笠で育ち、山笠の魅力を至上のものとする山のぼせになってしまう。山笠は櫛田神社本殿に祀られる素盞鳴命(すさのうのみこと=祇園宮)への奉納行事。素盞鳴は天慶4年(941)藤原純友の反乱の鎮圧にあたった小野好古が神助を祈願し山城(京都)祇園社から勧請。中世、兵火に遭って度々荒廃したが、天正15年(1587)、豊臣秀吉が博多町割とともに現社殿を建立、寄進した。古来、商売繁盛、不老長寿の守り神として信仰をあつめている。(旅行者・甲斐鐵太郎)

日本計量新報

計測と科学
 編集長 佐藤 隆
 〒810-0801 福岡市博多区博多駅前2-1-1
 電話 092-281-1111
 092-281-1112
 092-281-1113
 092-281-1114
 092-281-1115
 092-281-1116
 092-281-1117
 092-281-1118
 092-281-1119
 092-281-1120

Yamato
 業界初の振動除去機構を
 搭載で作業効率アップ
 デジタル式上皿自働はかり
"UDS-1V/1VD"

 天和産業株式会社
 電話 076(076)918-9577

85年の伝統と確かな技術

はかりや分銅の校正、ISOやGLPなどの計量管理に高いコストパフォーマンスでお応えします。

OIML分銅
 普通分銅
 まくら型分銅

基準天びんと各種精密分銅の供給メーカー

株式会社 **大正天びん製作所**
 〒836-0042 茨城県下妻市高道祖4219-2
 TEL(0296) 43-7021 FAX(0296) 43-8150

今週の主な記事

博多山笠
 経済と経営観測アンケート(1)
 計量行政審議会、計量制度の見直し決まる
 NMIJ計測クラブ発定会開かれる
 夏の署名広告
 おしんの甘口・辛口
 資料・(独)産業技術総合研究所平成17年度計画
 私の履歴書・齊藤勝夫(8)、計量ひとくちメモ
 社説・適正計量実現のための計量士の心意気
 新製品ニュース、JCSS事業者登録

⑧面 ⑦面 ⑥面 ⑥面 ⑤面 ③面 ③面 ②面 ①面

夏季特集 (2)

経済と経営観測
 アンケート (1)

8月の計量計測データバンク
 IDとPW
 ID: 5070
 PW: sjtudbfz